

こども読書よむ読むプラン(第4次大和市子ども読書活動推進計画)(案)に対する市民意見公募手続の実施結果

<市民意見公募手続の概要>

意見募集期間:令和3年12月6日(月)から令和4年1月6日(木)まで

意見提出方法:持参、郵送、ファックス、電子申請

周知方法:広報やまと12月1日号、市ホームページ

公表した資料:こども読書よむ読むプラン(第4次大和市子ども読書活動推進計画)(案)

<意見提出者数と意見数>

1人・7件

<意見公募の結果>

・読書の効果に関する記述について 1件

・評価指標について 1件

・具体的な取組の提案 5件

区分	ご意見の概要	本市の考え方
読書の効果に関する記述について	この計画では読書自体の面白さを見出そうとしており、それは素晴らしいと思うが、読書をすればより豊かになるという実用志向の価値観を付け加えてみてはどうか。	本計画では、基本理念において、読書は知識や情報を与えてくれるだけでなく、思考力や表現力を養うなど、多様な効果をもたらす、人間が人間らしく、より心豊かに生きていくための大切な行為であることを記しています。施策目標1は子ども自らがこうした効果に気づき、自発的に活動を行ってもらえるよう、読書の面白さや楽しさを伝えていこうとするものであり、今後、これを達成するためのさまざまな取組を展開していきたいと考えています。
評価指標について	インターネット上の読書体験は冊数で数えられないので、「一ヶ月間に読んだ平均冊数」という調査では拾えない可能性がある。インターネットを利用した読書の動向を把握することも必要と考える。	変容する子どもの読書環境に則した評価が行えるよう、今後、アンケート調査の設問内容について検討していきます。
具体的な取組内容について	子ども達が動画やゲームに使う時間が増加していることから、本の読み方講座を開くべきではないか。	施策目標1 方策1-3の子どもの成長に応じた読書支援の具体的な取組を検討する際の参考とさせていただきます。
	インターネット上で利用可能な優れた作品を子どもたちに紹介する取り組みを行って欲しい。	本計画では、施策目標1 方策1-2の取組の一つとして、図書館ホームページの子ども向け情報の充実を掲げており、この中で本市の電子図書館のリンクを張り、作品の紹介をすることを検討していきます。
	子どもは体験を基に言葉を覚えるので、読書振興には実際に体験することも重要ではないか。	施策目標1 方策1-3の取組の一つとして、学校での朝読書を実施することとしています。「読書をしよう」と働きかけるだけではなく、実際に「手を動かす」読書の体験から、読書習慣の形成に繋がることを目指しています。
	シリウスの洋書コーナーはもっと興味を引くように配架の工夫をしてほしい。また、TOEFLの問題集やベトナム語、中国語、スペイン語等の多言語の本を充実させてはどうか。 シリウスの漫画コーナーに同じ漫画の英語版を置いてみてはどうか。	市立図書館では問題集の収集は行っていませんが、多言語図書に関しては、施策目標2 方策2-1の取組の一つとして収集、充実に取り組むこととしております。配架の工夫へのご提案を含め、いただいたご意見については、今後の検討を行う上での参考とさせていただきます。